

行政視察報告書

令和 7年 2月 3日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員

村山 さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和 6年 1月 23日(木) ~ 24日(金)
3. 視察場所及び目的
 - ① 福井県坂井市…デマンド型タクシー『イータク』について
 - ② 長野県長野市…教育支援センター『ササランド』について

4. 調査内容感想等

・視察の目的

◆坂井市…『イータク』導入の経緯や、実際導入してみて見えた良い点と課題

◆長野市…廃校を利用した施設なので、改築費用や利用する児童生徒の状況

・視察の内容

坂井市・・・人口八万八千人ほどで、人口減少とは反して世帯数は増えている。

コミュニティバスが運行していたがコロナがきっかけで利用者数が激減し、その後も回復しなかったことから、オンデマンド型を導入。

通勤や通学での利用者が多かった主要線のコミュニティバスを残しつつ、接続線を充実させていった。

令和元年度、民間会社と覚書を締結し『自家用有償旅客運送』を推進することに。

令和2年度、実証運行開始を目指していたところ、交通事業者からストップがかかり、協議を重ね交通事業者が運行管理・業務を行う『一般乗合旅客自動車運送事業』に

方針変換

令和5年度の運行開始まで、さまざまな課題をクリアしてこられた。

運行事業者に配慮して、タクシーノゴールデンタイムを省き、8時から17時の運行、ドア to ドアは無し。

運行開始を目指す中で

・高齢者へのアンケートで買い物先や生活圈等の調査

・通院先を知るためにレセプトデータの検証

・停留所の設置場所を決める際に、地域の区長さんに確認して、足が悪い人の近くに設置する等、とても丁寧な手順を踏んでおられ、市民に寄り添った施策だと感じた。

・長野市・・・廃校を利用して8ヶ所目となる教育支援センター『ササランド』が令和6年4月にオープンした。

平成2年建築の分校を利用。改修や超寿命化に1億8000万円

地域の大学にも協力してもらい、学生や教職員との協働の実現。(クリスマス会や餅つき大会、キャンプ等)

毎日開所しており、好きな時間に通える。

8時台と10時台に駅から送迎バスが出ており、朝が苦手な児童生徒にも配慮。

給食があり、実食した分だけ請求。

保護者が来所して過ごすこともある。

児童生徒のためにも、保護者の心理的負担の軽減が必要。

親の会が開催されていて、親同士のつながりも生まれている。

運営には子どもたちの意見を反映させ、地域の親の会や信州大学、民間団体も運営協議会に入っている。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

坂井市・・・人口規模は違うが、少子高齢化に加え、世帯数が増えているのは同様。

当市にもデマンドタクシーはあるが、エリアを越えての利用は病院等に限定されているなど、利用者にとっての使い勝手はまだまだ改善の余地があると思う。

坂井市は生活実態の調査や、高齢者へのアンケートなど実に丁寧に進めてこられたと感じた。当市でも現状のシステムをさらに充実できるよう当局にはたらきかけていきたい。

長野市・・・来所時間の自由や、自分で決めたカリキュラム等、当事者に寄り添った内容だと感じた。また、保護者にも寄り添ってくれていることで、信頼関係がうまれ

と思う。当市にも教育センターはあるが、人員不足で通える日時が限定的である。
さらに充実させるためにも、民間の組織や個人との協働の推進を訴えていきたい。